

志津川湾夏祭り 福興市

新聞 及善蒲鉾店

7月15日(金)

【発行】株式会社 及善商店
【編集】及川善弥・沼倉忠彦



よさこいパフォーマンス



戸倉水戸辺鹿子躍

南三陸夢メッセ7月花火16打ち上げ

志津川湾夏まつり

福興市

思い伝える 大輪の華

7/30(土) 12:00~21:00

志津川仮設魚市場周辺特設会場 (南三陸町志津川字堀ヶ浦8)

■第1部 12:00~ 路上イベント
●オープニングセレモニー
●よさこい
●トコヤツサ
■第2部 18:30~ ●各種音楽イベント
■第3部 19:40~ ●創作花火
●南三陸夢メッセ7月花火2016
●創作花火ウォーレ

6/7 歌津復興夏まつり 10:00~21:00

南三陸の夏を彩る一大イベント。「志津川湾夏まつり福興市」が開催される。及善ではかまぼこの他にも、お祭りにぴったりのものを販売予定。他の店舗では志津川ならではの素材を使用した物販販売はもちろん、緑日コーナーなどお子様から大人まで楽しめる店舗が立ち並ぶ。

▼祭りは3部で構成され、第1部では「よさこい」、「トコヤツサ」コンサート。第2部ではバンド演奏やライブ等音楽イベント。第3部は、お祭りに欠かせない「花火」の打ち上げ！感謝と想いを載せて南三陸の夜空に咲く大輪の花を、ご家族皆さんで見上げてみてはいかがでしょうか。

7月30日土曜日
12時~21時
南三陸町志津川仮設魚市場周辺特設会場



7月30日土曜日
12時~21時
南三陸町志津川仮設魚市場周辺特設会場

おすすめ情報

南三陸のA級グルメキラキラ丼。その中でも一番人気のうに丼は7月がまさに美味しい時。食べなごや損。

キラキラうに丼

呼び込みをする伊達武将隊

6月12日~6月22日
JR仙台駅2階ステンドグラス前

◎伊達美味ウイスキーフェスタ2016
7月9日・10日

神戸まつり2016

◎東北フェア
6月12日~6月22日
JR仙台駅2階ステンドグラス前

◎伊達美味ウイスキーフェスタ2016
7月9日・10日

催事報告

◎第46回神戸まつり
5月15日
3年目となる神戸まつりカーニバルパレードは見事でした。

7月7日は 笹かまの日

7月30日 土曜日
志津川仮設魚市場特設会場

◆世田谷ふるさと区民まつり
8月6日~8月7日
世田谷区JRA馬事公苑
11時~21時

REBORN ART FESTIVAL ap bank fes 2016

2016年7月29日(金)・30日(土)・31日(日)
会場:宮城県 石巻港 雲雀野(ひばりの)地区

7月30日~7月31日
石巻港ひばりの地区
11時~21時

催事予定

◆JR仙台駅3階新幹線改札内臨時売店
7月4日~8月31日
8時~20時 最終日19時

◆細倉ミュージックパラダイス
7月17日 日曜日
栗原市細倉メインパーク
野外ステージ
11時~20時

◆食材王国みやぎ楽天公式戦7月23日~7月24日
楽天KBOスタジアム宮城
23日 15時~試合終了
24日 16時~試合終了

◆REBORN ART FESTIVAL ap bank fes
7月30日~7月31日
石巻港ひばりの地区
11時~21時

ライオンズクラブ国際大会にて

笹かまの試食販売

まつり神輿 昨年の世田谷まつりメンバー

世田谷区民まつりに参加します

「せたがやふるさと区民まつり」が8月6日、7日と世田谷区のJRA馬事公苑で開催される。世田谷区から復興支援で派遣された職員の方々の緑で、4回目の出店となる。笹かま炙り焼き、タコの唐揚げなど販売予定。祭囃子と御神輿、子供達の太鼓の演奏を楽しみに会場へ。

おまつりのメインゲート

今月のお魚 真鯨

真鯨(まあじ)

真鯨(アジ)日本では北海道から東シナ海にかけて全国各地に生息。名前の由来は「味がよい」から「あじ」が有力な説。鯨の漢字は旬が旧暦の3月であることから「魚」偏に「参」の旁など諸説ある。年間を通して水揚げも多く、重要魚として位置づけられ、日本の食卓にも古くから定着。生食、焼き、揚げ、煮物、そして加工品など、様々な料理方法がある。及善蒲鉾店では南三陸じゃこ天の主原料のひとつ。

豆鯨の南蛮漬け

ひとこと

6月の25・26日と福岡県でライオンズクラブの国際大会という大イベントに参加し、世界の皆様に蒲鉾の試食と販売をして参りました。「カマボコ」という言葉が通じず、「フィッシュケーキ」とか「フィッシュペースト」として紹介しました。ケイキのイメージを持って食べた方、刺し身やお寿司をイメージした方、ソーセージをイメージした方。それぞれでしたが、ほとんどの方が、食べて首をかしげておりました。なかなか良い反応には出会えませんでした。世界にカマボコを広めるにはまだまだ課題があると感じました。とそれ以前の問題に、私が話をうまく出来ない、ということでした。英語が世界共通語であることを改めて痛感しました。また、帰りの空港では明太子が英語だけではなく中国語で販売されているのを目の当たりにし、福岡の国際的な力を感じました。東北ももっと世界に発信しなくては」と帰りの機内で雲海を眺めながら身の丈を忘れ、そんなことを思い巡らしましたが、ふと我に戻り、これからの挑戦したいことも少し真面目に考えました。▼まず、地元の方々、お世話になっている方々に改めて蒲鉾の魅力を知って頂くことが何より。そして、日本人だけではなく、来日している海外からの日本ファンにも知って頂く努力もいこう。▼蒲鉾90年の歴史が世界に花を咲かせる。そのための種を一粒でも作りたい。そんな気持ちになった九州遠征でした。

及川 善弥